

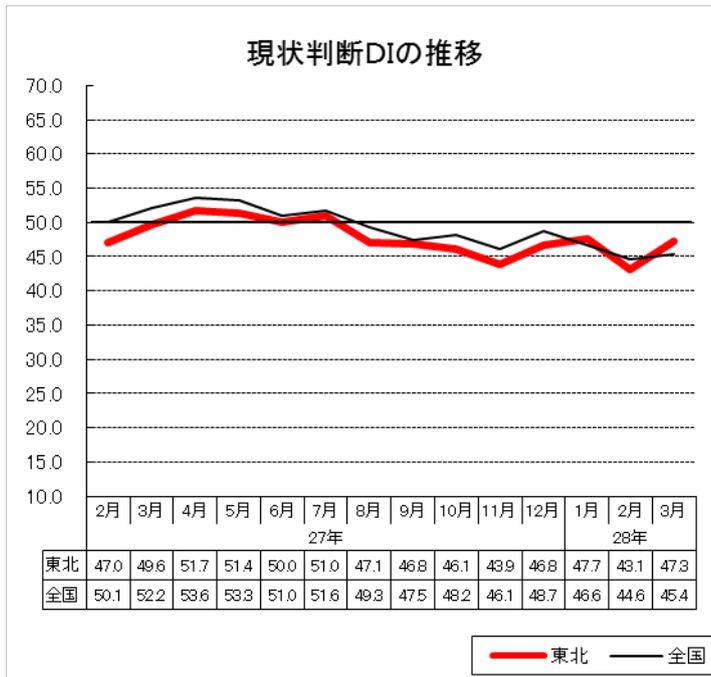
報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 3 月東北分
 (新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 3 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「47.3」と2か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+4.2 ポイントと大幅に上回ったが、8か月連続で景気判断の基準となる 50 を下回った。



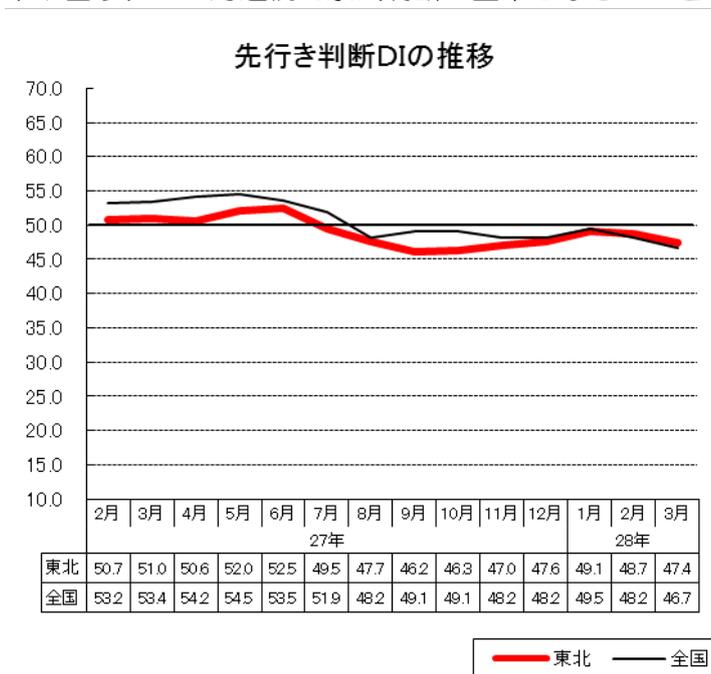
・家計動向…住関連専門店、自動車販売店、観光型ホテル等で DI が前月を下回ったが、商店街代表者、高級レストラン、一般レストラン、観光名所・遊園地等の業種で DI が前月を上回った。DI は「46.6」(+4.9)と2か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 を 10 か月連続で下回った。

・企業動向…その他非製造業、農林水産業従事者、輸送業等で DI が前月を下回ったが、広告代理店、通信業、その他企業動向を把握する者等の業種で DI が前月を上回った。DI は「50.0」(+3.8)と4か月ぶりに前月を上回り、8か月ぶりに基準値 50 に達した。

・雇用動向…DI は「46.4」(▲0.2)となり、3か月連続で前月を下回り、基準値 50 を 2 か月連続で下回った。

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI は「47.4」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.3 ポイントとやや下回り、9か月連続で景気判断の基準となる 50 を下回った。



・家計動向…一般レストラン、家電量販店、百貨店等で DI が前月を上回ったが、一般小売店、観光型ホテル、都市型ホテル等の業種で DI が前月を下回った。DI は「46.5」(▲2.6)と4か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を 9 か月連続で下回った。

・企業動向…その他非製造業等の業種で DI が前月を下回ったが、それ以外の業種では前月から DI が横ばいもしくは上回った。DI は「50.0」(+5.1)と2か月ぶりに前月を上回り、4か月ぶりに基準値 50 に達した。

・雇用動向…DI は「48.8」(▲4.6)と、2か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を 5 か月ぶりに下回った。

<参 考>

■D Iの推移※

(1) 現状判断(方向性) D I

	27年												28年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東北現状	47.0	49.6	51.7	51.4	50.0	51.0	47.1	46.8	46.1	43.9	46.8	47.7	43.1	47.3	
家計動向関連	46.0	49.1	51.6	53.0	48.6	48.7	46.2	45.6	44.9	42.3	45.7	47.3	41.7	46.6	
企業動向関連	50.0	50.6	53.0	46.4	55.4	56.1	47.5	48.7	47.5	47.6	47.4	47.0	46.2	50.0	
雇用関連(参考)	47.7	51.1	50.0	51.1	48.9	56.0	52.3	51.1	51.1	47.7	52.3	51.1	46.6	46.4	

(2) 先行き判断D I

	27年												28年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東北先行き	50.7	51.0	50.6	52.0	52.5	49.5	47.7	46.2	46.3	47.0	47.6	49.1	48.7	47.4	
家計動向関連	51.0	51.2	50.7	52.8	51.0	49.3	46.9	45.0	45.9	45.3	46.6	48.8	49.1	46.5	
企業動向関連	50.0	49.4	51.2	50.0	56.5	48.2	49.4	46.8	46.3	51.2	46.1	49.4	44.9	50.0	
雇用関連(参考)	50.0	52.3	48.9	51.1	54.5	53.6	50.0	52.3	48.9	50.0	56.8	51.1	53.4	48.8	

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 28 年 3 月 25 日～31 日

回答者数 194/210 名、回答率 92.4%(全国 1,858/2,050 名、90.6%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 萱場 喜樹)
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL: 022-225-1426 FAX: 022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（商店街）…今年は降雪の影響が少なく、安心して移動できる道路、交通事情が確保されたことにより、客の消費行動がやや活発になっている。

（コンビニ）…雪解けとともに光熱費などの経費が減少している。また、来客数も増加しており、競合店の影響はあるものの、厳しかった1～2月よりは利益が出ている。

（高級レストラン）…卒業や就職など、孫の新たな門出をお祝いする祖父母の姿が多く、3世代を中心とした客が増えている。

（通信会社）…3月からの新規メニューのスタートと同時に、加入促進イベントを実施した効果が表れており、新規加入者が増加し解約者が減少している。月末には引越などによる解約予定者がいるものの、前年よりは大幅に減少する見込みとなっている。

（観光名所）…インバウンドが来客数、乗船人数の底上げをしているが、その現象に隠れるようにフリーの客も増加している。また、インバウンド客は購買意欲があるため、売上の増加にもつながっている。

（住宅販売会社）…若年層の住宅取得希望者が増えている。

（食料品製造業）…駅周辺に新しい商業施設や駅ビルの新館がオープンしている。また、北海道新幹線開業の影響で駅周辺店舗での売上が増加したことにより、全体的に売上が前年を上回っている。

（広告業協会）…3月は駅周辺の再開発、商業施設オープン、北海道新幹線開業、プロスポーツ開幕、電力自由化対策のPRがあり、マスコミ各社は久々に前年を上回ったようである。また、交通広告、折込広告などの媒体関係も受注が多い様子である。

○「変わらない」

（スーパー）…暖冬で大きな気候の変化もなく、販売量、1品単価共に、3か月前と比較して大きな変化はない。

（衣料品専門店）…入学、卒業需要などの目的買いが減少しているなか、暖冬の割には寒暖の差が激しいことで、春物商品の売行きは盛り上りに欠けている。

（家電量販店）…AV機器、テレビなどの売行きが少し鈍くなっている。また、景気に対する不安感のために、客の財布のひもが固くなりつつある。

（一般レストラン）…3月は転勤の時期であり歓送迎会などにより動きがあるため、3か月前と比べるとやや良い状態である。しかし、例年との比較ではたいして変化がなく、全体としては変わらない印象である。

（都市型ホテル）…前月から大きな変化はなく、停滞感が否めない状況である。

（旅行代理店）…国内は北陸方面が好調であるものの、インバウンドによる東京、大阪方面の宿泊の確保困難などの影響が表れている。また、パリのテロ以降、海外旅行に回復傾向がみられないことから、伸び悩みの傾向にある。

（美容室）…美容室は施術料金のみのため、客はなぜ値上げとなるのかわからない様子である。実際には光熱費や薬剤などの値上げにより施術料金も上げざるを得ないのだが、なかなか納得をしてもらえない。

（リフォーム業）…供給高は前年実績を上回っているものの、今後の供給につながる受付件数は伸びていない。

（土石製品製造販売）…原材料の価格高騰に伴い取引先に価格の値上げ交渉をしなければならないが、そう簡単にはいかない。同業者も同様に値上げができずに困っている様子である。

（建設業）…手持ち工事の稼働率は高い状態が続いている。

（公認会計士）…建設業は、売上、利益の前年比が減少傾向にあるものの、一定の利益は確保している。しかし、小売業、サービス業は、売上、利益共に前年比が減少しており、わずかではあるが赤字企業もでてきている。

(企画業) …例年多く発生する年度末の駆け込み需要であるが、今年は極めて少ない状態である。これは当
店に限らず同業者も同様の傾向にある。

(人材派遣会社) …企業側の決算、人事異動時期の多様化、働く側の生活スタイルの多様化の影響により、
以前と比べて、年度末でも活発な人の入替えはなくなっている。そのため、求人広告数も以前よりは3月
だから倍増ということはなくなりつつある。

(新聞社[求人広告]) …復興に伴う大型工事は一段落したものの、建設業を中心に一定の求人は続ける様子
である。

(職業安定所) …医療系の専門職や介護職員などの人手不足な職種を除き、採用意欲の高まりが感じられな
い。

○「やや悪くなっている」

(医薬品販売店) …単価の高い常連客により売上は平年並みを維持しているが、来客数の前年比が14%も落
ち込んでいる。3月に入ってからは店頭がにぎわいに欠け、極端に売上が少ない日が出るようになってい
るが、これはかつてデフレと呼ばれ、景気低迷が長期化していた時期によく経験していた状況である。

(百貨店) …入学や卒業、異動などに伴う需要は例年に近い動きとなっている。しかし、返礼品の単価が減
少しており、さらに、自家需要商品の購入に対して価格を吟味する傾向がより強まってきている。洋品、
雑貨関連すべてにおいて、これまで中間顧客層と認識していた客が、百貨店のボリュームゾーンから離脱
して、ロープライス商品の購入へとシフトしてきている。

(乗用車販売店) …例年であれば期末決算に向けて来客数が増加し、それに比例して販売量も伸びる時期で
あるが、今年は逆に来客数は減少傾向にあり、客単価も低い状態である。

(住関連専門店) …以前からの受注残があるため、3月の販売量はやや増加している。しかし、受注活動に
おいては厳しさが増している。

(靴専門店) …新入学に伴う学用品の購入は堅調であるが、納品先が在庫量を細かく調整しており、出荷量
が減少している。

(観光型旅館) …来客数は増加しているものの、販売単価が下がり気味であり、ドリンクなどの売上も落ち
てきている。ふるさと旅行券が終了して消費が落ち込んでいる。

(一般機械器具製造業) …現時点での受注予測が前年を下回る見込みである。また、輸出も円高による目減
りがある。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(建設業) …すでに新年度の発注予定工事を公表している発注者も出てきている。新年度スタートに合わせて
て、中央官庁や地方自治体から多数の公共工事発注があると見込んでいる。

○「やや良くなる」

(一般レストラン) …4月は入学シーズンであり、その後は3月末～5月初旬にかけて花見のシーズンとな
る。気温も高くなり人の出入りも増えて忙しくなるとみている。

(広告代理店) …夏の選挙を控えて、多少の動きがでてくる見込みである。

○「変わらない」

(百貨店) …地方では個人所得のベースアップへの期待が薄い。また、消費税率10%への引上げに向けて消
費を抑えている様子が見受けられている。

(コンビニ) …原油価格の下落により身の回りそのものは助かっているが、世界経済としては、徐々に悪い
影響が日本にも表れてくるのではないかと。また、電力自由化に対しても一般市民の間に期待はずれ感が漂
っており、今一つ景気が上向くような材料がない。客の購買動向も低単価のものに流れており、悪い意味
で景気は変わらないのではないかと。

(衣料品専門店) …価値と価格のバランスがとれている商品については、多少価格が高くても購入する客が増えている。一方、ベーシックでお値ごろな商品の売行きが鈍くなってきており、全体としては盛り上がりには欠けている。

(酒類専門店) …地元では選挙などがあるため、多少の動きがあると期待している。ただし、消費動向は引き続き鈍くなるとみており、全体的な状況に変化はない。

(観光型ホテル) …北海道新幹線開業によって東北は通過場所になり、景気の回復は厳しくなるのではないかと。

(遊園地) …これからもっとも重要な時期であるゴールデンウィークとなるが、地下鉄新規路線開通に伴い、これまで17年間続いていた交通渋滞対策が終了している。そのため、客の流れがスムーズに地下鉄へと移行できるか多少の懸念がある。

(食料品製造業) …好転するような要素が見当たらない。新商品を投入するものの、あまり効果は期待できない。

(木材木製品製造業) …消費税率10%への引上げ前の駆け込み需要が盛り上がりせずに、採算性の改善が進まない状況が続くとみている。

(出版・印刷・同関連産業) …株式市場が低迷しながらも安定してきていることで心理的に良い影響が出てきており、受注残は前年並みに推移している。ただし、賃上げ率は株式市場の低迷を反映して当初予定より低めになっていくとみている。

(公認会計士) …建設関係は今年いっぱいまで受注を持っている会社が多く、極端な業績悪化にはならないとみている。また、小売業、サービス業においては業績悪化が進むかもしれないが、全体としては大きな変化にはならない見込みである。

(人材派遣会社) …求人数の増加傾向に変化はない。しかし、製造業の技術派遣会社の採用動向からは、メーカーが体制の拡張を控えるような動きが出てきている。そのため、半年～1年のスパンでみた場合は不安がある。

(職業安定所) …求人は、人手不足と人手余りの職種が大きく分かれており、しばらくの間は求人倍率が高止まりのままの状態が続くとみている。

(民間職業紹介機関) …新規採用者の入社により、当面の求人数の動きに変化はないとみている。

○「やや悪くなる」

(医薬品販売店) …医薬品関係は何とか前年をクリアできるが、雑貨や美容関係については前年がとて良かった分、今年は買い控えている様子がうかがえる。そのため、先行きは少し悪くなるのではないかと。

(スーパー) …アベノミクスの崩壊という事実を、国民である地元の客は肌で感じている。景気の悪さ、不況感が進んでおり、先行き不安によって客の財布のひもは固くなっていくだろうとみている。

(都市型ホテル) …下降線ではあるものの、駅前の一等地ということもあり、宿泊に関してはビジネス客を中心に一定程度の稼働を維持している。また、観光関係も旅行会社に積極的に働きかけている。しかし、一般宴会においては会社数の減少、婚礼部門においては人口減少の影響が表れてきており、この先どこまで耐え切れるのかと懸念している。

(タクシー運転手) …マスコミなどで消費税率10%への引上げが大々的に報道されており、タクシーの乗り控えが非常に目立ってきているように見受けられる。

(コピーサービス業) …仕入先から値上げの話がでてきている。数はまだ少ないものの、いずれは足並みをそろえた仕入先との値上げの交渉になるとみている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上